

広域振興局長

提出者 盛岡ターミナルビル株式会社
 住所 〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44
 氏名 代表取締役社長 松澤 一美

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

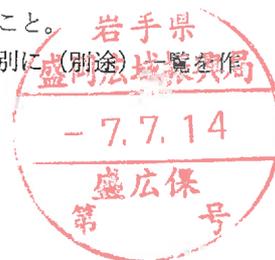
主たる工場又は事業場の名称	盛岡ターミナルビル株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	4,127 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
フェザン及びホテルメトロポリタン盛岡	〒020-0034 盛岡駅前通1番44号	2,192 kl
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通2番27号	1,365 kl
ホテルメッツ北上	〒024-0061 北上市大通1丁目1番34号	239 kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）成の上、添付してください。



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度										E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量											
	数量 A	単位	熱量(GJ) B	数量 C	単位	熱量(GJ) D									
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL										
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL										
揮発油(ガソリン)		kL			kL										
ナフサ		kL			kL										
ジェット燃料		kL			kL										
灯油		kL			kL										
軽油		kL			kL										
A重油		kL			kL										
B・C重油		kL			kL										
石油アスファルト		t			t										
石油コークス		t			t										
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	27.00	t	1,353	t		1,353				81		81		
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³										
化石燃料	可燃性天然ガス		t		t										
		液化天然ガス(LNG)		千m ³		千m ³									
		その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³									
		輸入原料炭		t		t									
石炭		原料炭		t		t									
		コークス用原料炭		t		t									
		吹込用原料炭		t		t									
		輸入一般炭		t		t									
		国産一般炭		t		t									
		輸入無煙炭		t		t									
	石炭コークス		t		t										
	コールタール		t		t										
	コークス炉ガス		千m ³		千m ³										
	高炉ガス		千m ³		千m ³										
	発電用高炉ガス		千m ³		千m ³										
	転炉ガス		千m ³		千m ³										
	都市ガス	683.00	千m ³	30,735	千m ³		30,735								
	その他の燃料	()													
	()														
	()														
黒液		t			t										
木材		t			t										
木質廃材		t			t										
バイオエタノール		kL			kL										
バイオディーゼル		kL			kL										
バイオガス		千m ³			千m ³										
その他バイオマス		t			t										
RDF		t			GJ/t										
RPF		t			GJ/t										
廃タイヤ		t			GJ/t										
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t										
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t										
廃油		kL			GJ/kL										
廃棄物ガス		千m ³			千m ³										
混合廃材		t			t										
水素		t			t										
アンモニア		t			t										
その他燃料()															
小計①								32,088			81		81		
産業用蒸気		GJ			GJ										
産業用以外の蒸気	18,315.00	GJ	21,795		GJ		21,795			21,795	974		974		
温水		GJ			GJ										
冷水	13,653.00	GJ	16,247		GJ		16,247			16,247	726		726		
地熱		GJ			GJ										
温泉熱		GJ			GJ										
太陽熱		GJ			GJ										
温水熱		GJ			GJ										
小計②								38,042			1,701		1,701		
電気事業者①	10,395.00	千kWh	89,813		千kWh		89,813			89,813	4,179		4,179		
電気事業者② ※複数契約している組合使用		千kWh			千kWh										
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh										
自家発電		千kWh			千kWh										
	太陽光				千kWh										
	水力				千kWh										
	風力				千kWh										
	その他				千kWh										
小計③								89,813			4,179		4,179		
合計 ④=①+②+③								159,942			5,960		5,960		

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	4,127	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	5,960 t-CO ₂
	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素
	上記以外の二酸化炭素
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六ふつ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三ふつ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	5,960 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

CO2排出量1%以上の削減を目標としていたが、コロナ禍からの回復による宴会客・宿泊客増加に伴い、エネルギー使用量が増大し

また、夏季の気温上昇に対応するためエネルギー使用量が増大してしまった。

【具体的な取組状況】

- ・空調機の更新工事
- ・使用していない箇所の冷暖房の停止及び照明の消灯は随時実施している。
- ・空調用インバーターの設置を実施した。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自 動 車			二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	()	ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

・空調機の更新

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項